

ポ ン ジ ュ ー ル

Bonjour!

ボンジュール (フランス語):
朝から夕方までの挨拶(あいさつ)の言葉。「こんにちは」「おはよう」



デュオ 旭爪姉妹友の会 2012年発行

〒738-0060

広島県廿日市市陽光台 5-9 アマリハビリティーション病院内

☎info@hinotsume-shimai.jp

http://www.hinotsume-shimai.jp/fanclub/

— デュオ旭爪姉妹 —
フランスの思い出 Vol.3

シリーズ第三回目となる今回のインタビューでは、お二人のデュオ結成
当時のお話など、フランスでの思い出も交えてお話しいただきました。



Q. お二人はフランスで本格的にデュオを組まれたとお聞きしましたが、小さい頃から姉妹で活動されたいという夢が、おありだったのでしょか？

A. 裕美子さん

小さい頃はあまり考えたことはありませんでしたが、母は、将来二人でアンサンブルが出来たらと思い、違う楽器を習わせてくれたようです。2人で初めて合わせたのは、お互い習い始めて間もない頃の妹のヴァイオリンの発表会でしたが、確かフォスターの「主人は、冷たい土の中に」という曲であったと思います。曲の始まりを二人でピッタリと合わせる事が難しく、私が妹に「さんハイ！」と言って弾き始めたことを懐かしく思い出します。

A. 千恵さん

それから私の発表会や、大学に入ってから試験などがある度に姉に伴奏をしてもらい、一緒に演奏していましたが、将来デュオ組んで活動することになるとは思ってもいませんでした。仲が良かったこともあり、自然な流れでアンサンブルを続けておりました。

Q. それでは、何かきっかけがあったのですか？

A. 裕美子さん

その後フランスに留学してからは、妹のヴァイオリンのレッスンに、毎回伴奏者が必要となり、二人でレッスンを受けていた時に、先生から本格的にデュオを組んでみてはどうかと勧められ、デュオを結成する事となりました。

A. 千恵さん

私の恩師であるデビー・エルリー先生は、室内楽の授業にも大変力を入れておられたので、アンサンブルについて沢山のことを教わり、また姉とのデュオ結成を勧めてくださり本当に感謝しております。

Q. デュオを組まれてからは、それまでお二人で演奏されていた時と比べ、何か変化がありましたか？

A. 裕美子さん

私にとって姉との演奏は、姉として妹をサポートするような気持ちが強かったと思いますが、デュオとしてとなると、お互い対等な立場で演奏しなければいけないので、そこに大きな違いがありました。対等に意見を言い合うということは、それぞれの演奏技術も向上させなければいけませんし、最初は二人で合わせるということが、今までの延長線上にある気がして、新鮮な気持ちで取り組むことが難しかったように思います。

A. 千恵さん

私も、「姉なら自分がどんな演奏をしても合わせてくれる」ということが当たり前になっていて、そこに甘えがあったと思います。「姉妹だから何も言わなくても自然と息が合う」というのではなく、お互いが一人の演奏者として認め合った上で、二人の音楽を作り上げていかなければ、本当に素晴らしいアンサンブルにはならないということを、勉強する中で学んでいったように思います。そんな中、デュオを結成して1年ほどたった頃だったと思いますが、ある演奏会に行ったことで私たちの気持ちに変化が occurred。

Q. それはどのような、コンサートだったのでしょうか？

A. 裕美子さん

それぞれソリストとして活躍されているピアニストとヴァイオリニストの方のデュオのコンサートでしたが、その方達の演奏はとても生き生きとしていて、まるで競い合っているかのごとく、熱演でありながらも、お互いが引き合っていて、まさに二人で一つの音楽を作り上げていました。これが本当のデュオの演奏なのだと感じた時、あんな風に、二人で一つの芸術を作っていくような演奏が出来るようになりたい。その為にも、もっと真剣にデュオの勉強がしたいと思うようになりました。二人で興奮してコンサート会場を後にしたことが、今でも思い出されます。

Q. 有難うございました。

さて、お二人のフランスでの日常生活の苦労話は、前号でお聞き致しましたが、音楽の勉強においても、苦労されることありましたか？

A. 裕美子さん

西欧の方達は、自分の意見がはっきりとしているので、音楽においても主張する部分があり、表現力の違いを強く感じて、それをどう克服していくかということが、一番の課題だったように思います。

A. 千恵さん

先生の言われる「演奏の幅広さ、表現の大きさ、自由さ」という事が、本当の意味では、なかなか理解できず苦労したように思います。留学して間もないころの私は、いかに綺麗にミスなく演奏できるか、ということばかり考えていたように思います。

Q. それをどうやって克服されていったのでしょうか？

また今でも、お二人がスランプになるようなことがあった時は、どのように解消されているのでしょうか？

A. 裕美子さん

演奏技術においては、腕や体に力が入ってしまうと、音の伸びも悪くなってしまいますので、脱力法(体の力を抜いて演奏する方法)を習得することで、表現力の課題を克服していきました。それが、「表現の自由さ、演奏の幅広さ」ということに繋がっていったように思います。演奏でスランプになってしまった時は、マイナス面に目を向けると更に落ち込んでしまうので、自分の強みを見つけて、それを極めていけるように心がけています。

A. 千恵さん

デュオの曲というのは、ソナタなど演奏表現が難しいものが多いので、デュオの勉強を始めたことで、お互い、ソロの演奏においての表現力という課題も少しずつ克服できたのかなと思います。ただ留学中には、努力しても思うようにいかず、「もうやめて日本に帰りたいな」と弱気になってしまう事もありました。ある日、ふとつけたテレビに、私の大好きな演奏家メニューインとオイストラフという二人の巨匠が演奏している古い映像が流れていました。バッハの二つのヴァイオリンの為の協奏曲という曲でしたが、素晴らしい演奏に感動したのと同時に、二人が本当に楽しそうに笑顔で演奏している姿を見て、「自分は、音楽の楽しさや、ヴァイオリンを好きという純粋な気持ちまで、なくしてしまっていたんだ」と思いました。あの時、テレビをつけていなかったら、挫折して日本に帰っていたかもしれませんね(笑)。ですから今でも落ち込むことがあった時は、この曲を聴くと、その時の事を思い出して「また頑張ろう。」と前向きな気持ちになれます！

有難うございました。フランスでのご苦労が今のお二人の演奏に繋がっているんですね。

(__Bonjour!vol. 6 に続く)

フランス～姉妹のお気に入りスポット②～

エッフェル塔 パリ：7区 メトロ⑥⑨番線 Trocadero 下車

私たちの住んでいたアパートメントから、エッフェル塔がすぐ近くだったので、この公園によく散歩に行きました。シャン・ド・マルス公園から見るエッフェル塔の眺めがとても好きです。



エッフェル塔：
シャン・ド・マルス公園からの眺め

From HAWAII



ヒロでの歓迎会会場にて
(左端 細川会頭)

～廿日市・コナ文化交流フェスティバル 2011 廿日市市・コナ商工会議所姉妹提携 5周年～
ハワイ公演 2011年 8月 19日(ハワイ島ヒロ) 8月 21日(ハワイ島コナ)

廿日市市の栗栖神楽団の皆様と共に、ハワイ島のヒロとコナで公演させていただくという貴重な経験をさせていただきました。沢山の素晴らしい出会いがあり、思い出に残るコンサートとなりました。実行委員長の細川廿日市市商工会議所会頭様をはじめ、温かく迎えて下さいましたヒロとコナの皆様に、心より感謝申し上げます。

旭爪裕美子・千恵

裕美子さん 千恵さん ALOHA!

この度は KONA でお会い出来てうれしかったです。そしてとてもとても素敵な演奏を有り難うございました。お二人の日々の地道な練習を思い、心打たれました。美しいです。音響設備も整わないコナの会場で色々大変なこともあったことと思います。私達もここでは、なかなか一流の音楽に触れることも難しくお二人の音色にうっとりとしてしまいました。懐かしい日本の曲は心にしみました。ありがとう。または是非コナにいらしてくださいね! See you soon!

Ikumi Salinger

Dear Yumiko san Chie san
Thank you very much for coming to Hilo to perform.
We were so blessed and enriched by your spectacular Performance! Brabo!
Please Keep in touch and know that we will always welcome our new friends from Hiroshima with open arms!
Mahalo!



Patsy

(日本語訳)

親愛なる裕美子さん、千恵さん。ヒロへ演奏するためにお越し下さり、本当に有難うございました。私たちは、あなた方の素晴らしい演奏によって祝福され、心が豊になりました。素晴らしい！これからも連絡をとり続けて下さいね。私たちはいつでも両手を広げてヒロシマからの新しい友達を歓迎します！ありがとう！



会 員 の ひ ろ ば



神様からの賜物 -音楽と癒しの姉妹-

私には誇るべきそして感謝すべき財産が沢山あります。それは家族や周りの方々の愛情であり友情です。その中で日々心豊かに生かしてもらっている。これほど幸せな事は他にありません。そのような中で4年前、大竹の三倉岳のコンサートで旭爪姉妹に初めてお会いしました。以来、友情と信頼で固く結ばれている！と、私は一人ごちて嬉しく鼻高々に大いに自慢しているところです。

三倉のコンサートで、私は瞬時に彼女達に魅了されました。こんなに素晴らしい奏者がおられる！ならば長年私が行っているチャリティーコンサートの出演を頼まないでおれませんか？ 小心者の私なれど、いざ勇気を振り絞って聞くなりよ！ All they can say is “no” (ダメで元々)。子猫のようになってお聞きすると、本当に優しい声で「はい」と即答して下さいました。

以来、3年前の岩国基地教会での素晴らしいコンサート、昨年につき今年の3月の日米交流も兼ねたユニセフディナーチャリティーコンサートに出演して頂きました。驚嘆したのは満席の64席、彼女達は観客の殆ど全ての方々を覚えておられた事です！ お客様一人一人を大切になさる姉妹、暖かい癒しの心遣いをして下さる姉妹！ そしていつも笑顔万遍のお母様！ 本当に旭爪ご一家全員が癒しておられます。

私はと申しますと、超おっちょこちょい・・・。事実この度の掲載も、ずっと前に「は～い！書きましょう！」と引き受けたはずがすっかり忘れていて、たまたま用事でお電話を差し上げた際、「その後、原稿の出来具合はいかがですか？」「原稿？何の事ですか？」「・・・」姉妹、瞬間戸惑いの静寂の後、「あの、え～、お引き受け頂いていた原稿の事ですけど・・・」私「ぎゃ～！すっかり忘れていました・・・」今私は大急ぎで原稿を書いております。

姉妹、どうぞこんな私ですけどこれからも末永くよろしく。神様からの音楽という素晴らしく特別な賜物を頂かれています姉妹、どうぞその賜物を十分用いてこれからも多くの方々を癒して下さい。I will always wishing you the best.

(岩国市 浜野美佐枝)



デュオ旭爪姉妹が FM はつかいちに出演しています。FM はつかいち 76.1MHz

番組名： クラシック FOR YOU (※2012年4月から番組名と時間帯が変わりました。)

(提供：デリカウイング株式会社)

日 時： 毎月第2・第4火曜日 午後6:00～6:55 生放送中

※リクエストやメッセージをラジオネームを付けてお送りください！

fm0761.jp または FAX. 0829(31)0761

「生きること」と音楽

昨年3月11日に発生した東日本大震災で多くの尊い命が奪われたことは、私たちの脳裏から決して離れません。被災地の人々を最も励ましているのは、子どもたちの笑顔であり、かなしみを乗り越えて、前向きに生きている子どもたちの姿です。そのような姿が心に残っています。そうした笑顔を目の希望へとつなげていきたいものです。

各地で被災地の支援のため、様々なチャリティーコンサートなども行われております。また、坂本九さんのヒット曲「上を向いて歩こう」が、今静かなブームだそうです。

「発メロで日本を元気に」という鉄道企画もあり、みんなが集まる駅から希望のメッセージを発信したいという思いからであると聞いています。この歌は悲しみを歌い、その悲しみの向こうに見える希望を歌っています。

音楽は、私たちに力を与えてくれることがあります。私自身は、器楽、創作は不得手です。専ら、歌ったり、鑑賞したりで、若いときはフォークソングやジャズ、それから演歌、民謡、クラシックなど幅広く鑑賞してきました。今は亡き、阿久悠氏や星野哲郎氏の作詞にも関心をもち、どのような状況の中で詞が生まれたのか、日本人としての心情、抒情性に心を惹かれています。これまでの私の生活の中で、音や音楽は、心の高揚や感性の覚醒に大きく影響し、生きる力を与えてくれると思っています。

さて、地元の演奏家、デュオ旭爪姉妹さんのことですが、国内外で高い評価を受けておられ、数々の演奏会に出演されておられます。市内の小中学校での演奏やさくらびあホールでの演奏会、また、各種さまざまな会や行事などで聴く機会がありましたが、息の合ったアンサンブルはとても素晴らしいものでした。私にとってクラシックはいつも自分の心のメロディーに置き換えて聴いております。旭爪姉妹のお二人は、いつも笑顔で心の豊かなお方であると、お会いした時から感じています。

お二人は3年前(2009年)から世界文化遺産宮島観光大使としてもご活躍されておられますが、音楽を通して、県内はもとより、日本と世界に宮島の魅力を伝えていく活動をさらに期待しております。今後とも、地元廿日市市においても、演奏活動を通して、子どもたちから高齢者の方々に元気と笑顔を与え、文化の薫る活力あるまちづくりに協力していただくことを祈念しております。

(廿日市市教育長 今橋孝司)



旭爪姉妹とのご縁

私は、中学高校時代、音楽が聞きたくて、手作りで真空管のアンプとスピーカボックスを自作し、スピーカとレコードプレーヤーを買ってきて、心躍らせながらレコードを聴いていました。初めて買ってきたレコードは、ベートーベンの「運命」でした。このレコードはすり減って雑音が出るようになるまで聴き入りました。

マニアたちから、生演奏の音色はレコードに録音できない微妙な音があり、とても素晴らしいものだと言っていました。生演奏を聴いたのはそのずっと後のことです。その生演奏で感じたのは、とても優雅な気分になったということでした。

旭爪姉妹との出会いは、20 年来私が所属している異業種交流会の事務局、本田博さんにご紹介いただき、コンサートを聴きに行ったことでした。

その後何度も演奏を聴かせていただいています。しかもとても優雅にです。

2008 年の 11 月、会社内に NPO 法人「日本ケニア協会」を設立した時、旭爪姉妹に記念演奏をして頂きました。私たちにも親しみのある曲で、この会がとても格調高いものになりました。

お母様も和服姿でおいでくださり、音楽ともども優雅な雰囲気を醸し出してくださいました。そのあとの懇親会にも気軽に出席いただき、親しく話をさせていただいたのも良い思い出です。

もう一つのお話しをしましょう。それは、旭爪姉妹のご親戚にあたる、旭爪あかねさん原作の小説が映画化された、「アンダンテ～稲の旋律～」のことです。昨年は広島で、この映画の上映の前にご姉妹が演奏もされました。

この映画のテーマは、家に引きこもりになっていた女性が、ある日、田舎に旅したとき稲穂に魅せられ、農作業によって引きこもりを脱してゆくというものでした。私の長男は、不登校や引きこもりなど社会の中で生きづらい青年たちの自立支援を、農業を通して行う活動をしています。NPO 法人「ブエン・カミーノ」といいます。この活動を通して旭爪姉妹とのご縁を感じることであります。

これからも旭爪姉妹の演奏が私の生活に優雅さを添えてくださることでしょう。



(ラボテック株式会社 代表取締役 吉川恵)

私たちがデュオ旭爪姉妹を応援しています。

医療法人ハートフルグループ

<p>内科・リハビリテーション科</p> <p>アマノリハビリテーション病院</p> <p>TEL 0829-37-0800</p> <p>廿日市市陽光台 5-9</p>	<p>内科・心療内科</p> <p>あまのクリニック</p> <p>TEL 0829-31-5151</p> <p>廿日市市串戸 5-1-37</p>	<p>介護付有料老人ホーム</p> <p>CASA MIA</p> <p>TEL 0829-37-1133</p> <p>児童デイサービス</p> <p>おひさま</p> <p>TEL 0829-37-1166</p> <p>廿日市市陽光台 3-1-3</p>	<p>介護付有料老人ホーム</p> <p>望海の里</p> <p>TEL 0829-56-4580</p> <p>廿日市市宮島口東 2-13-15</p>
<p>お土産に、ご贈答に…</p> <p>第 24 回全国菓子大博覧会 名誉総裁賞 第 21 回全国菓子大博覧会 名誉無鑑査賞 安芸銘菓 宮島銘菓</p> <p>桐葉菓 もみじ饅頭</p> <p>やまだ屋</p> <p>本店／廿日市市宮島町 835-1 ☎(0829)44-0037 おおのファクトリー／廿日市市沖塩屋 2-10-52 ☎(0829)55-0001</p>		<p> NPO 法人 日本ケニア協会 </p> <p>ケニア紅茶他 フェアトレード商品取扱い ショップ アサンテ SHOP ASANTE http://www.shop-asante.jp/</p> <p>ラボテック株式会社 広島市佐伯区五日市中央 6 丁目 9-25 Tel.082-921-5531 FAX 082-921-5532</p>	
<p> 有限会社 大方塗装</p> <p>廿日市市原 526-6 TEL.(0829)37-4727 FAX.(0829)37-4728</p>		<p>増井運送</p> <p>広島市西区己斐上 2 丁目 6-2 ☎(082)271-3564</p>	<p> コンデイトライ・フェルガーシェフ</p> <p>廿日市市上平良 220-2 ☎(0829)37-2760</p>
		<p> 黒の森</p> <p>廿日市市新宮 2 丁目 14-14 ☎(0829)32-6614</p>	<p> 廿日市・ブラッセ宮内店</p> <p>廿日市市宮内 4450 ☎(0829)39-8566</p>